

各 位

東映アニメーション株式会社
 代表取締役社長 高橋 浩
 (JASDAQ コード番号:4816)
 問い合わせ先 常務取締役 大山 秀徳
 電話番号 03-5261-7612

(訂正・数値データ訂正有り) 「平成23年3月期 第2四半期決算短信」の一部訂正について

平成22年10月27日に発表いたしました「平成23年3月期 第2四半期決算短信」の記載内容について一部誤りがございましたので、下記の通りお知らせいたします。また、数値データにも訂正がありましたので訂正後の数値データも送信いたします。

1. 訂正箇所 (訂正箇所の下線を付しております。)

5頁

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

2. 訂正内容

【訂正前】

(単位：千円)

	当第2四半期 連結会計期間末 (平成22年9月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成22年3月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,867,575	2,867,575
資本剰余金	3,409,575	3,409,575
利益剰余金	<u>23,585,006</u>	23,006,920
自己株式	△32,961	△17,986
株主資本合計	<u>29,829,195</u>	29,266,084
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	△834,448	△250,809
為替換算調整勘定	<u>△343,321</u>	△257,806
評価・換算差額等合計	<u>△1,177,769</u>	△508,615
純資産合計	28,651,425	28,757,468
負債純資産合計	33,758,873	34,668,133

【訂正後】

(単位：千円)

	当第2四半期 連結会計期間末 (平成22年9月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成22年3月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,867,575	2,867,575
資本剰余金	3,409,575	3,409,575
利益剰余金	<u>23,619,146</u>	23,006,920
自己株式	<u>△32,961</u>	△17,986
株主資本合計	<u>29,863,335</u>	29,266,084
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	△834,448	△250,809
為替換算調整勘定	<u>△377,461</u>	△257,806
評価・換算差額等合計	<u>△1,211,909</u>	△508,615
純資産合計	<u>28,651,425</u>	28,757,468
負債純資産合計	<u>33,758,873</u>	34,668,133

以 上

平成23年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成22年10月27日

上場会社名 東映アニメーション株式会社

 コード番号 4816 URL <http://www.toei-anim.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 高橋 浩

問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役経営企画部担当

(氏名) 大山 秀徳

TEL 03-5261-7612

四半期報告書提出予定日 平成22年11月12日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家、アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成23年3月期第2四半期の連結業績(平成22年4月1日～平成22年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
23年3月期第2四半期	11,139	22.9	1,452	60.1	1,636	57.3	994	59.1
22年3月期第2四半期	9,063	△14.6	906	△53.2	1,040	△51.0	625	49.3

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
23年3月期第2四半期	71.58	—
22年3月期第2四半期	44.94	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
23年3月期第2四半期	33,758	28,651	84.9	2,062.06
22年3月期	34,668	28,757	83.0	2,068.18

(参考) 自己資本 23年3月期第2四半期 28,651百万円 22年3月期 28,757百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
22年3月期	—	—	—	30.00	30.00
23年3月期	—	—	—	—	—
23年3月期(予想)	—	—	—	20.00	20.00

(注)当四半期における配当予想の修正有無 無

平成22年3月期期末配当金の内訳 特別配当金10円を含んでおります。

3. 平成23年3月期の連結業績予想(平成22年4月1日～平成23年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	21,000	0.2	2,200	△5.5	2,400	△4.8	1,400	△3.3	100.71

(注)当四半期における業績予想の修正有無 無

4. その他（詳細は、【添付資料】P.3「その他の情報」をご覧ください。）

(1) 当四半期中における重要な子会社の異動 無

新規 一社（社名 ）、除外 一社（社名 ）

（注）当四半期会計期間における連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動の有無となります。

(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の適用 無

（注）簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用の有無となります。

(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

① 会計基準等の改正に伴う変更 有

② ①以外の変更 無

（注）「四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更」に記載される四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の有無となります。

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	23年3月期2Q	14,000,000株	22年3月期	14,000,000株
② 期末自己株式数	23年3月期2Q	105,442株	22年3月期	95,313株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	23年3月期2Q	13,900,058株	22年3月期2Q	13,912,255株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続が実施中です。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社グループが本資料の発表日現在において入手可能な情報から得られた判断に基づいており、リスク及び不確実性を包含しております。業績予想の前提となる仮定及び業績予想のご利用に当たっての注意事項については、3ページ 1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報 (2) 連結業績予想に関する定性的情報 をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報.....	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報.....	2
(2) 連結業績予想に関する定性的情報.....	3
2. その他の情報.....	3
(1) 重要な子会社の異動の概要.....	3
(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要.....	3
(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要.....	3
(4) 継続企業の前提に関する重要事象等の概要.....	3
3. 四半期連結財務諸表.....	4
(1) 四半期連結貸借対照表.....	4
(2) 四半期連結損益計算書.....	6
【第2四半期連結累計期間】	
(3) 継続企業の前提に関する注記.....	7
(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記.....	7

1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、政府の経済対策の効果等を背景に企業収益の改善が続くなか、生産や個人消費に持ち直しの動きが見られたものの、海外景気の下振れや為替レート・株価の変動による景気の下押しリスクが強まったことで、回復ペースが鈍化いたしました。

当社を取り巻く事業環境におきましても、依然として少子化やテレビ広告市場の落ち込み、DVD市場の飽和、娯楽の多様化等により厳しい状況が続いているものの、劇場用アニメーション作品の興行成績が好調に推移し、携帯端末・パソコン・テレビ・ゲーム機等への映像配信サービスやブルーレイディスク、3D立体映像等の新たなメディアの拡大の他、政府によるコンテンツ支援策が図られる等、アニメーションビジネスの拡大が期待されます。

こうしたなか、当社は、国内で「ワンピース」、「ハートキャッチプリキュア!」、「ドラゴンボール」シリーズ、海外で「ドラゴンボール」シリーズ、「ワンピース」、「プリキュア」シリーズを主とした、テレビ・映画・ブルーレイディスク・DVD・携帯端末・インターネット等への映像製作・販売事業や、キャラクターライセンス等の著作権事業、キャラクター商品の開発・販売等を行う商品販売事業、キャラクターショー等のその他事業を展開いたしました。

この結果、第2四半期連結累計期間における売上高は111億39百万円（前年同期比22.9%増）、営業利益は14億52百万円（同60.1%増）、経常利益は16億36百万円（同57.3%増）、四半期純利益は9億94百万円（同59.1%増）となりました。

セグメントごとの業績は次のとおりであります（セグメント間取引金額を含みます）。

なお、当第1四半期連結会計期間より、「セグメント情報等の開示に関する会計基準」（企業会計基準第17号 平成21年3月27日）及び「セグメント情報等の開示に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第20号 平成20年3月21日）を適用しておりますが、報告セグメントの映像製作・販売事業及び著作権事業については、同会計基準等適用前の事業の種類別セグメントの映像製作・販売事業及び著作権事業とそれぞれ同一の区分であるため、前年同期における各セグメントの売上高とセグメント利益（営業利益）を比較し、増減比率を表示しております。また、商品販売事業及びその他事業については、同会計基準等適用前の事業の種類別セグメントの関連事業の商品販売部門及びイベント部門とそれぞれ同一の区分であるため、前年同期における各部門との売上高とセグメント利益（営業利益）を比較し、増減比率等を表示しております。

①映像製作・販売事業

劇場アニメ部門では、8月に「劇場版 怪談レストラン」を公開したものの、3月に公開した「映画 プリキュアオールスターズDX2 希望の光☆レインボージュエルを守れ!」の3月分の興行に関する収入が前期に計上済みであったことから、前年同期と比較して減収となりました。

テレビアニメ部門では、「ワンピース」や「ドラゴンボール改」、「怪談レストラン」、「ハートキャッチプリキュア!」、「マリー&ガリー Ver.2.0」、「うちの3姉妹 おかわりばれたい」に加え、7月から「デジモン クロスウォーズ」を放映開始いたしました。前年同期に比べ放映本数が少なかったこと等により、全体としては大幅な減収となりました。

パッケージソフト部門では、8月発売の映画「ワンピースフィルム ストロングワールド」、7月発売の「映画 プリキュアオールスターズDX2」や各テレビシリーズのブルーレイ・DVDが好調に稼動したことから、増収となりました。

海外部門では、「ドラゴンボール」シリーズや「ワンピース」等のテレビ放映権やビデオ化権の販売を全世界で積極的に行ったものの、前年同期に「ドラゴンボール」シリーズでイタリアテレビ放映権や北米ビデオ化権等の大口の販売があったことの反動減や、為替の影響もあり、大幅な減収となりました。

その他部門では、パソコンやテレビ向けの配信サービスが好調に稼動したものの、全体としては大幅な減収となりました。

この結果、売上高は38億22百万円（前年同期比18.6%減）、セグメント損失は29百万円（前年同期は3億30百万円のセグメント利益）となりました。

②著作権事業

国内部門では、「ワンピース」や「ハートキャッチプリキュア!」が好調に推移し、特に「ワンピース」の人气が一層拡大し、衣類やフィギュア、パズル、生活雑貨等のキャラクター商品が幅広く好調に稼動したことから、前年同期と比較して大幅な増収となりました。

海外部門では、欧州で「ドラゴンボール」シリーズのキャラクター商品等が堅調に推移しましたが、全体としては前年同期に比べ厳しく、為替の影響もあり、大幅な減収となりました。

この結果、売上高は40億43百万円（前年同期比55.5%増）、セグメント利益は18億20百万円（同68.9%増）となりました。

③商品販売事業

商品販売部門では、「ワンピース」や「ハートキャッチプリキュア！」に関連したキャンペーンやタイアップ商品等が好調に稼動したことから、前年同期と比較して大幅な増収となりました。

この結果、売上高は29億33百万円（前年同期比90.8%増）、セグメント利益は1億19百万円（同49.5%増）となりました。

④その他事業

その他事業部門では、「ワンピース」の催事イベントや「ハートキャッチプリキュア！」のキャラクターショー等が好調に稼動したことから、大幅な増収となりました。

この結果、売上高は3億58百万円（前年同期比45.2%増）、セグメント利益は94百万円（同12.3%増）となりました。

(2) 連結業績予想に関する定性的情報

当社グループの実際の業績は、事業を取り巻く経済環境、市場動向、為替レートの変動等様々な要因により、記述されている業績見通しとは大きく異なる結果となり得ることをご承知おきください。

なお、平成23年3月期の業績予想につきましては、平成22年7月26日に公表いたしました業績予想を修正しております。詳細につきましては、平成22年9月27日付公表の「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

2. その他の情報

(1) 重要な子会社の異動の概要

該当事項はありません。

(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要

該当事項はありません。

(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要

①「資産除去債務に関する会計基準」等の適用

当第1四半期連結会計期間より、「資産除去債務に関する会計基準」（企業会計基準第18号 平成20年3月31日）及び「資産除去債務に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第21号 平成20年3月31日）を適用しております。これによる当第2四半期連結累計期間の営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益に対する影響は軽微であります。

②「連結財務諸表に関する会計基準」の適用

「連結財務諸表に関する会計基準」（企業会計基準第22号 平成20年12月26日）に基づき「財務諸表等の用語、様式及び作成方法に関する規則等の一部を改正する内閣府令」（平成21年3月24日 内閣府令第5号）の適用により、当第2四半期連結累計期間では、「少数株主損益調整前四半期純利益」の科目で表示しております。

(4) 継続企業の前提に関する重要事象等の概要

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	当第2四半期 連結会計期間末 (平成22年9月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成22年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	11,105,649	12,296,076
受取手形及び売掛金	3,688,846	3,997,615
商品及び製品	89,705	110,329
仕掛品	1,018,087	784,297
原材料及び貯蔵品	53,716	68,420
その他	687,140	734,686
貸倒引当金	△54,837	△62,137
流動資産合計	16,588,307	17,929,287
固定資産		
有形固定資産	3,612,362	3,669,535
無形固定資産	223,818	245,346
投資その他の資産		
投資有価証券	7,482,470	8,141,623
長期預金	3,500,000	2,500,000
その他	2,391,651	2,222,078
貸倒引当金	△39,738	△39,738
投資その他の資産合計	13,334,384	12,823,963
固定資産合計	17,170,565	16,738,845
資産合計	33,758,873	34,668,133
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,388,864	2,928,184
未払法人税等	451,749	910,975
賞与引当金	225,332	225,039
その他	1,289,391	1,012,262
流動負債合計	4,355,338	5,076,462
固定負債		
退職給付引当金	513,838	505,218
役員退職慰労引当金	146,480	254,200
その他	91,790	74,784
固定負債合計	752,109	834,203
負債合計	5,107,447	5,910,665

(単位：千円)

	当第2四半期 連結会計期間末 (平成22年9月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成22年3月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,867,575	2,867,575
資本剰余金	3,409,575	3,409,575
利益剰余金	23,619,146	23,006,920
自己株式	△32,961	△17,986
株主資本合計	29,863,335	29,266,084
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	△834,448	△250,809
為替換算調整勘定	△377,461	△257,806
評価・換算差額等合計	△1,211,909	△508,615
純資産合計	28,651,425	28,757,468
負債純資産合計	33,758,873	34,668,133

(2) 四半期連結損益計算書
【第2四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)
売上高	9,063,697	11,139,774
売上原価	6,044,926	7,787,769
売上総利益	3,018,770	3,352,004
販売費及び一般管理費		
人件費	548,556	551,366
賞与引当金繰入額	107,193	111,631
退職給付費用	22,497	25,692
役員退職慰労引当金繰入額	13,180	11,660
貸倒引当金繰入額	22,821	—
その他	1,397,543	1,199,531
販売費及び一般管理費合計	2,111,791	1,899,882
営業利益	906,978	1,452,121
営業外収益		
受取利息	60,774	36,406
受取配当金	79,701	69,791
持分法による投資利益	26,594	85,921
その他	7,577	49,079
営業外収益合計	174,647	241,199
営業外費用		
為替差損	41,064	56,101
その他	436	1,071
営業外費用合計	41,501	57,173
経常利益	1,040,125	1,636,147
特別損失		
投資有価証券評価損	3,970	9,690
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	—	16,205
特別損失合計	3,970	25,895
税金等調整前四半期純利益	1,036,154	1,610,251
法人税、住民税及び事業税	502,734	500,996
法人税等調整額	△91,799	114,264
法人税等合計	410,935	615,260
少数株主損益調整前四半期純利益	—	994,990
四半期純利益	625,219	994,990

(3) 継続企業の前提に関する注記

当第2四半期連結累計期間（自 平成22年4月1日 至 平成22年9月30日）

該当事項はありません。

(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

当第2四半期連結累計期間（自 平成22年4月1日 至 平成22年9月30日）

該当事項はありません。